

こみゆにてい 戸隠

戸隠地区住民自治協議会広報

平成25年度 第17号 発行者：戸隠地区住民自治協議会長 和田 文雄
【平成25年7月発行】

委員会活動報告

安全・安心委員会

常任評議会合同で2ヶ所を視察しました。(5/30) 参加者：23人

・真田宝物館企画展 善光寺地震と復興

弘化4年(西暦1847)に善光寺平で発生した直下型大地震マグニチュード7.4(規模は内閣府中央防災会議報告書から)の甚大な被害状況を、当時の松代藩が大絵地図として記録しており、戸隠地域の大きな被害も示されていました。

・松代地区 有害獣対策

イノシシ対策を主眼として、南山側斜面に設置された高さ1.2m、長さ38.6kmに渡るエキスパンドメタル製防御柵を視察。資材費は国の補助金、設置労務及び保全是松代地区住民が自ら担っています。



被害絵地図の前で説明を聞く

環境美化委員会

公共施設(戸隠・柵運動場)草刈り(6/23)

戸隠運動場に55人、柵運動場に21人の皆さまにご協力いただき、生茂っていた雑草がきれいに刈られました。



柵運動場の草刈り

ご協力ありがとうございました。

春のごみゼロ運動が行われ

多くの廃棄物を回収しました

- ・道路沿いのゴミ拾い 参加延人数：513人
回収量 缶・びん・ペットボトル：1,132本
可燃物：471.8kg 不燃物：432.2kg
- ・河川清掃 参加延人数：126人
回収量 缶・びん・ペットボトル：70本
可燃物：50.2kg 不燃物：102.5kg

一人ひとりのマナーで
ポイ捨てを撲滅しましょう

人権委員会

人権委員会では6月7日午後7時30分から一回目の委員研修会を行ないました。

皆さんご存知のように人権について学ぶといっても、同和問題・女性・高齢者・障がい者・外国人など「長野市の人権政策推進基本方針」に挙げられている人権課題だけでも多岐にわたっています。毎年区毎に行なわれる人権学習会も、今年はどんなことに取り組もうかと委員さんが頭を悩ませる点であったかと思えます。その点にも考慮し本年度は戸隠全体で一年間ひとつの課題に取り組むこととし、「人権を考える集い」でも近年取り組んでいない～外国人の人権について～学ぶため、啓発ビデオ『トモダチ』『紡ぎだす未来』を鑑賞し意見交換を行いました。そのほか私たちが日常何気なく使っている言葉にも重大な差別、人権侵害があることも学びました。

本年度は住民自治協議会の組織変更に伴い、各区から選出の委員は昨年度までの半分の人数です。委員さんの負担を多少なりとも軽減し、戸隠地区全体で「人権問題」を自分自身の課題と考え、正しい認識を持ち、人権感覚を磨き、一人ひとりの人権が尊重される住み良い地域づくりを目指して委員会活動を進めていきますので、よろしくお願ひします。

公民館委員会

第9回 女性レクリエーション大会 (6/30) (ソフトバレーボール)

15地域公民館から17チーム(参加者282人、内:選手190人)が参加しました。

各チームとも独自の練習を積み重ね、大会に臨みました。



ボールを追う選手たち



成績等

	Aブロック	Bブロック
優勝	宝光社	東部
準優勝	中社	平
3位	中央、追通	中社、上祖山
敢闘賞	西条	上楠川
特別賞	西部	川手

公民館委員会研修会開催 (6/21)

15地域公民館長研修会を行ない、各地域公民館の年間事業について発表していただき、それに基づいて意見交換を行ないました。

各地域公民館とも前年踏襲型が多いですが補助金事業を取入れたり、市の出前講座とセットで地域住民の健康や子どもの健全育成に繋がる事業を計画しているところも多くあり有意義な研修会となりました。

青少年育成委員会

地区懇談会開催される。

7月1~2日の2日間にわたり青少年育成会主催の地区懇談会が行なわれました。

当日は12地区会場において活発な議論が行なわれました。過疎化と少子高齢化により戸隠の子どもたちの減少が続いています。特に保育園~中学校まで同じ仲間と一緒に生活を送ることになり、その結果どの学年も1クラスずつであり、ほとんどの子ども達が10年間同じ仲間と一緒に生活を送ることになります。

地域においては子どもが少なく育成会の行事活動が十分にできなくなってきています。

今年も学校の出席をお願いし保護者・地区の皆様と学校の先生方と懇談をし子どもたちの現状や課題・地域の問題を学校とともに解決していく話し合いを持ちました。

その中で特に今年は各地区の育成会行事に関する意見交換を持ちました。話し合いの中で今までの行事とともに地域にある伝統行事の伝承を育成会の行事として継続してほしい、又、学校が統合して校歌が変わった、しかし校歌が歌えない、学校を知るには小・中学校の校歌を聞きたいので有線で流してほしいなどいろいろな意見が出ました。

若者が地域に定着できる環境づくりが望まれる、それが過疎化の歯止めになると思うなど、行政に望む意見もありました。

最後に地域の子どもは地域で育てよう、で会を終了しました。

大変お忙しい中出席いただいた皆様ありがとうございました。



学校と保護者・地区の懇談会

本年度は住民自治協議会の構成団体を5回に渡り紹介します。

長野市赤十字奉仕団戸隠分団

人間を救うのは人間だ!! 委員長 畑山 富美枝

『人間を救うのは、人間だ。』『目の前の困っている人、苦しんでいる人を助ける。』

赤十字運動国際標語と赤十字の基本原則のなかでお聞きした言葉です。

戸隠地区住民自治協議会組織の安全安心委員会に属し、各地区1名～5名選出で41名（女性40名・男性1名）の委員で構成されており、任期は2年です

戸隠地区内の主な事業としては、戸隠地区総合防災訓練で炊き出し訓練（2年に一度）、研修があり、本年度は住民自治協議会青少年育成委員会の子どもフェスティバルで炊き出しのお手伝いをする予定です。

市全体ではさまざまな事業があります。

- ・研修会、訓練（炊き出し訓練等）・街頭募金 ・献血啓発活動
- ・春、秋ゴミゼロ運動 ・日赤県支部赤十字新聞折りボランティア
- ・ふれあいまつり ・長野市消防出初式など

これらへの参加や協力を行ない赤十字奉仕団の認識を深めています。

戸隠地区老人クラブ連合会

皆様のご加入をお待ちしています 会長 宮下 慎平

戸隠地区老人クラブ連合会は、15の単位クラブ（区ごと）から、855人の会員で構成されています。

活動内容もそれぞれの単位クラブにおいて充実した内容の計画を立案し実践しております。

本年度も、3ヶ月ほど経過いたしたばかりですが、これからが本格的に活動の場が広がっていくところです。

長野市老人クラブ連合会ともタイアップし、長野市老連1万8千余人の一員として会員増を目指し、地域活動・介護予防・寝たきりゼロ運動・交通事故ゼロ運動・犯罪被害防止活動・マイバック持参運動・友愛・災害共助活動等を推進して参る所存であります。

今、一番求められているのは会員の増です。老人福祉法には、「65歳以上を老人とする」と記されております。多くの皆様のご加入を心からお待ちいたしております。

戸隠地区民生児童委員協議会

お気軽にご相談を 会長 鈴木 知

戸隠民生児童委員協議会では、毎月一回の定例会で、関係各機関からの連絡等を聞いた後、民生児童委員が各々困ったり悩んだりしていることを発表し合ってそれへの対応を考えたりして自分たちの技量や識見を高めようとしています。また、小中学校の校長先生を始め専門家の話を聞いたり研修会に参加したりして、それらの研修を胸に、各地区においてそれぞれの委員が家庭訪問や相談活動などを行っています。

過疎化と高齢化が進んでいる戸隠地区は高齢者家庭の抱える問題がたくさんあります。日頃困っていることや悩み事等をお気軽に各地区の民生児童委員に相談してください。それらに全部お応えできるとは限りませんが、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。



福祉施設の視察研修

みんなの コラム

「砂鉢山 & 尾倉沢古道」里山の復活をめざして

砂鉢山に通じる尾倉沢古道の整備を始めたのが平成21年の春、毎年整備を重ねながら春秋恒例の砂鉢山登山会もすでに9回を数えます。今年は6/9（日）の登山会に41人が参加し、参加者は延べ288人になりました。

木々が生茂り暗かった森でしたが、間伐や藪切りなどにより、植物の生態系にも変化が見られ、タマアジサイ・サラシナショウマ・フタリシズカなどの群生地が目立ってきました。

「野鳥囀り蝶が舞う」、そんな里山に変わりつつあります。

また「水源の森づくり」をキャッチフレーズに、砂鉢山にブナの苗木を植樹しました。自然災害の防止と山の保全を目的に、継続的に進めていきたいと考えています。

誰からも親しまれる魅力のある里山の復活をめざしています。

・・・時どきの季節を感じながら、悠久の古道を気ままに歩いてみてはいかがでしょうか。きっと新たな発見があるはずです。・・・

【西条区 尾倉沢古道の会】



さあ登ろう 新たな発見を求めて

募金等の結果

緑の募金

196,350円

日本赤十字社員増強・社資募集

715,678円

皆さまのご協力ありがとうございました

※ 平成25年度 成人式 ※

8月15日（木）

場 所：長野市立戸隠公民館
成人対象者：平成4年4月2日～
平成5年4月1日 生
44名

みんなで祝福しましょう。

第21回高千穂町ホームステイが行われます。

7月30日（火）から8月2日（金）の4日間、小学生5人（男子2人、女子3人）が天の岩戸開き神話に由来する姉妹町の宮崎県高千穂町にホームステイします。

戸隠地区高千穂町交流協議会：戸隠神社、一般社団法人戸隠観光協会、
長野市商工会戸隠支部、戸隠地区住民自治協議会

～ 編 集 後 記 ～

暑くなりましたね。長野市と合併し様々なことが変化し、さらに都市内分権だ住民自治だと住民にとっては何が何やら…。いまだに住民自治協議会って何やってるだえとの声が聞こえる。しかし、お声を聴かせて下さい・一緒に考えてみませんか、と呼びかけてもほとんど何も反応なし。何か行なっても参加者はほとんど役員さんのみということが多く、何ともやりきれない思いがつのる。少子高齢化、若い人がいない。イエイエ、女性レクや運動会、戸隠にだってあんなに若い人もいないじゃないですか。まず大人が「戸隠が好き」と言えることが大切との講演会での講師の言葉が深く心に残ります。役員任せではなくみんなで声をあげ、みんなで行動を起こしませんか。そうすれば必ず道は開け、戸隠の活性化に繋がると強く思う日々です。暑さ厳しき折、熱中症には十分ご注意ください。（K.K）

～ お問合せ先 ～

戸隠地区住民自治協議会事務局

〒381-4102 長野市戸隠豊岡1554

Tel 254-2490 Fax 254-2327

e-mail togakusi-juumin@tggk.janis.or.jp